

検 証 報 告 書

キオクシア株式会社 御中

2022年1月25日

株式会社 日本環境認証機構

代表取締役社長 小野寺 浩幸

株式会社 日本環境認証機構（以下、「当社」という）は、キオクシア株式会社により報告された2020年4月1日から2021年3月31日の期間における温室効果ガス排出量に対して検証を行った。

1. 検証の目的及び範囲

当社は、キオクシアホールディングス株式会社の社外ホームページにおける「CSR 活動報告 環境負荷の状況、環境目標・実績」(以下、「HP」という)に掲載された2020年度(2020年4月1日から2021年3月31日)のキオクシア株式会社及びグループ会社の国内4拠点における温室効果ガス排出量情報について検証を行った。

- 1) スコープ1及びスコープ2 温室効果ガス排出量
- 2) スコープ3 カテゴリー6及び7 温室効果ガス排出量

HPに掲載された算定結果を管理し温室効果ガス排出量を報告する責任はキオクシア株式会社であり、当社の責任は、独立の立場からHPに掲載された算定結果として管理された温室効果ガス排出量に対する意見を表明することにある。

2. 検証手続

当社はISO 14064-3:2019 Greenhouse gases — Part 3: Specification with guidance for the verification and validation of greenhouse gas statements に準拠して検証を行った。当社は、限定的保証の一環として以下の活動を行った。

- ・温室効果ガス排出量を特定し、算定する責任のあるキオクシア株式会社関係者へのヒアリング
- ・温室効果ガス排出量を決定するために用いられた情報（データ）に対し、算定基準の適用方法、データの測定方法、事業者が採用した仮定、その基礎となるデータの評価、算定報告書における記載の検討
- ・温室効果ガス排出量の正確性を確認するための情報（データ）のサンプリングによる検証

3. 検証の結論

当社が実施した検証作業とプロセスによると、予め合意された重要性の基準を超えて、キオクシア株式会社が管理するHPに掲載された算定結果に基づくキオクシア株式会社の温室効果ガス主張が以下であることを示す証拠は見出されなかった。

- ・著しく正確性を欠いて、対象範囲における温室効果ガス排出量データ及び情報を適切に表していない。
- ・キオクシア株式会社が定めた温室効果ガス排出量算定方法に従って準備されていない。

検証された温室効果ガス排出量

スコープ1：651,900 tCO₂e、スコープ2：1,713,400 tCO₂e、

スコープ3 カテゴリー6：56 t-CO₂e カテゴリー7：14,341 t-CO₂e

以上

【検証の独立性、客観性】キオクシア株式会社と当社は、特定の利害関係がなく、独立した立場で検証を行いました。